

品川上空

騒音

墜落

落下物

大気汚染

羽田
新ルート

超低空飛行 撤回の声を

白石 たみお に託 して くださ い

都議会議員 (品川区選出) 日本共産党

これまで羽田空港では、陸地を避け、東京湾の上空を飛ぶよう配慮してきました。世界でも住宅密集地は避けるのが常識です。

今回の新ルート計画では都心上空の飛行で、住民の安全がおびやかされます。午後3時から7時、大井町駅上空で東京タワーより低い300m、八潮団地上空で200mを、1日132機、1分20秒間に1機と、山手線の朝のラッシュ時よりも多く飛ぶのです。

騒音は、最大80デシベル。夕方の家族団らの時間が休む間もなく地下鉄の車内並みに。65~70デシベルの騒音は心疾患を増加させ、子どもの読解力や長期記憶力の低下につながるとの研究もあります。

航空機の墜落や落下物も不安です。成田空港では、航空機の部品や、氷塊など、わかっているだけで開港以来、百数十件も確認されています。

航空機から排出される大気汚染物質として、環境省の報告でもPM2.5やナノ粒子が指摘されています。



区民アンケート結果から

■新ルートで心配なこと(3つ以内を選択)

- ①騒音...90.7%
- ②墜落...65.4%
- ③落下物...62.4%
- ④資産価値低下...22.4%
- ⑤健康被害...20.3%

■新ルートに(1つ選択)

- 賛成...5.0%
- 反対...81.7%
- どちらともいえない 13.4%

(日本共産党品川区議団が2017年1~3月に実施、3月7日現在の返信2067通から集計)

白石都議が 都議会本会議で新ルート撤回を要求 ひきつづき全力

白石都議は3月1日の一般質問で、新ルート計画の白紙撤回を求めました。小池知事は「さまざまな意見があったことは承知している」と答弁。都は、関係自治体の間で新ルートへの合意が行なわれていないことを認めました。

過去にも、飛行ルートを変更させた例があります。東京都が国に計画撤回を求めるよう、白石都議はひきつづき全力でがんばります。

白石たみおプロフィール

1982年生まれ。高校中退しし職人修行5年。18歳で日本共産党入党。21歳で大崎高校定時に入学。日本民主青年同盟品川地区委員長8年。2013年都議初当選。現在、都議会都市整備委員。党都議団政調副委員長、家族・妻。

党派をこえて区民の安全を求めているときに 品川選出の 自民・元自民・公明都議は?

品川区議会は「このまま事業をすすめることに危惧」「区民の不安は解消されていない」と国が十分に区民に説明するよう求める意見書を、全会一致で採択しました。

ところが、品川選出の自民・元自民・公明の3都議は「国に計画撤回をもとめよ」の請願に反対(共産党は賛成)、地元でも「防音対策さえとれば」などと発言し、住民からきびしい批判を浴びています。

羽田増便のため新ルートは必要?

——海上ルートだけで外国人観光客の目標はすでに超過達成しています

国は「東京五輪の2020年までに外国人観光客2000万人を受け入れ可能にするために新ルートを」としてきましたが、すでに現在の海上ルートだけで2400万人に超過達成しています。「都心上空の飛行ありき」で目標を上げてもよいのでしょうか。

羽田空港が都民の安全を守りながら便利になっていくことこそ、みんなの願いです。



人の犠牲の上に、経済発展はない くらし優先。一人ひとりが幸せになってこそ

日本共産党 白石たみお





痛みがわかるだからたたかう

都議会議員(品川区選出) 日本共産党

白石たみお 35歳

私は、この4年間、利権政治をただし、福祉・くらし優先の都政への転換をめざして、全力をつくしてきました。

15歳で高校を中退し、すし屋で修行した5年間。21歳から大崎高校定時制に通って学んだ4年間。青年運動のリーダーとして同世代の希望と悩み、生きる喜びをともにしてきた8年間。

—これが私の原点です。引きつづきががんばります。



地下空間の水が「闇」をあばくスタートに

昨年、豊洲の建物下に盛り土がないことを共産党都議団が発見。白石都議が地下空間から採取した水からヒ素などの猛毒が検出され、移転計画の見直しが大問題となる出発点になりました。



築地市場を大切に、再整備の検討を

私は、すし職人の見習いとして、毎日のように築地市場に通いました。築地は職人にとって、ネタの見極めの生きた教材を示してくれる学校です。築地ならではの信頼が、日本の食文化を下支えしてきました。

土壤汚染が残る土地で仕入れたものを自信をもって提供することはできません。

私は3月の都議会本会議で「築地市場の役割を大切にして現在地での再整備の検討を」と知事に求めました。

品川の自民、元自民、公明の都議は？

自民党の都議は、昨年、盛り土がないことが明らかになった後の10月6、7日の委員会で「土壤汚染の跡地を、日本の技術を結集し、食品を扱う土地に変えるための試練」と、移転促進を主張しました。

元自民党の都議は、豊洲移転を推進してきたことへの反省もなく、あわてて自民党を離れました。

公明党の都議は、築地市場の再整備を審議する特別委員会(2010年10月3日)で、「これ以上先送りせず、豊洲新市場の整備に一刻も早く着手すべき」と主張しました。

「政治とカネ」の「闇」もあばき 猪瀬知事辞職に

白石都議は猪瀬知事(当時)の裏献金疑惑の調査で、徳洲会東京本部まで出かけ、徳洲会病院が東京進出を狙っていた事実をつかみ追及。

本会議質問デビューで、知事辞職の流れをつくりました。



誰もが学び、幸せになる権利

小山台など 夜間定時制高校卒業生の一人として、**存続に全力をあげます。**

都教育委員会は、小山台、雪谷、立川、江北の4つの都立高校の夜間定時制を廃止するとしています。夜間定時制高校は高齢の人、障がいをもつ人、不登校の経験を抱えた人、外国にルーツを持つ人など、多様な生徒たちが机を並べて学んでいます。

白石都議は3月の都議会で、「保護者や卒業生、関係者の声を直接聞いてほしい」と知事に求めました。知事は「さまざまなチャンネルから意見を聞いていきたい」と答弁しました。

市民と野党の本気の共闘で

安倍暴走政治にストップを

日本共産党の第27回大会に、民進党、自由党、社民党、沖縄の風の代表が史上初めて来賓として出席し、志位委員長はじめ参加者全員とともに団結を誓いました(下写真)。

品川のみなさんの願い 都政に届けます 日本共産党 白石たみお

- 林試の森の隣の国・都有地に認可保育園、特養ホーム、障がい者施設の増設を
- 国保料引き下げ、滞納者への過酷な差押え中止。75歳以上の医療費無料化
- 都営住宅の増設
- 街こわしの巨大道路(補助28・29、放射2号線)を許さない

